

第1回世界に誇れる環境先進都市かめおか協議会（10：00～11：00）
議事要旨

◇開 会

◇会長あいさつ

- ・本協議会は、かめおかプラスチックごみゼロ宣言による具体的な施策としてプラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例を制定するために、お集まりいただき、たくさんの意見をいただいたりして現在に至っている。今後も持続可能な環境に挑戦する都市を目指して、いろいろな施策をこの協議会で協議を行いながら進めていけたらと思っている。
- ・昨年度から環境拠点施設である環境プロモーションセンターの建築が始まり、現在は素晴らしい建物が建っている。今年度、名称を募集されていたため、亀岡らしい名称が付けられると思っている。
- ・本日の議題には、環境プロモーションセンターについても含まれている。本協議会でご意見をいただきながら、皆さんが利用しやすく、環境先進都市として進めていく環境拠点施設に相応しい利用方法を協議できればと思う。

◇議 事

議題1「令和5年度の取組について」（事務局説明）

（亀岡地区中部自治会）

- ・ごみの分別拡大について、草木類の分別回収をされていたが、処理の問題により途中から処理されていないといった新聞記事が掲載されていたが、現在の状況は。

（事務局）

- ・草木類については、当初、堆肥化を進めていたが、臭気の問題により一旦ストップしている。今年度は、全量ではないが、炭化する事業を実証しており、今年5月の草木類回収分を炭化し、土壌改良剤に使い炭素の閉じ込めを図り、脱炭素に繋がる取り組みをスタートしようとしている。その可能性を見出すために分別区分はそのままにして、順次取り組みを広げていくという現状である。

（亀岡地区中部自治会）

- ・市民に対して周知をお願いしたい。

（事務局）

- ・実証実験の成果を踏まえながら周知を図っていく。

(保津川遊船企業組合)

- ・周知はどういった方法でされるのか予定はあるか。

(事務局)

- ・ひとまずは SNS を中心に発信したいと思うが、大まかな流れが見込まれば新聞等でも発信できればと思う。

(保津川遊船企業組合)

- ・環境パートナーシップ協定の締結状況は。

(事務局)

- ・現在、連携協定を含め 18 件の協定締結が実現し、少しずつネットワークの幅が広がっている。地域循環共生圏という本協議会の設置目的にもあるため、引き続き企業と連携していきたい。

議題 2 「令和 6 年度 of 取組について」(事務局説明)

(亀岡地区中部自治会)

- ・環境プロモーションセンターについて、リペア・リユース工房などのイベント開催と記載されているが、具体的に何をするのか。

(事務局)

- ・施設の椅子や机などは市内小学校のいらなくなった物をアップサイクルして使用する取り組みを行っている。そういった観点から、リユースやリサイクルのイベントなど、資源循環の取り組みに施設を使っていきたい。

(NPO 法人プロジェクト保津川)

- ・保津川エコツアーは何艘を想定しているのか。

(事務局)

- ・保津川下りで 30 艘、ラフティングで 50 艘を想定している。

◇副会長あいさつ

- ・亀岡市の様々な取組はいろいろな方面から注目いただいている。今後とも引き続きよろしくお願ひ申し上げる。

◇閉 会